

換気モニターTKR04AではCO2濃度の変化の記録を取ることができます。

通常の換気モニターアプリではセンサーが一方向的にデータを発信するだけなので、記録に関わる操作ができません。

記録操作を行なうためにはセンサーとiPhone/iPadが双方向で通信ができるように、通信モードを切り替える必要があります。

切り替え後に専用の「ワイヤレスCO2モニター」アプリを立ち上げて、記録の開始/停止/読み出しの操作を行なってください。

記録を開始した後に設定モードで「ビーコンモードに移行」を選択して、通常の通信モードに戻してください。

CO2濃度の記録はメールでパソコンに送ることができますので、エクセル等で換気の記録や帳票などを作成できます。

### 記録の開始

1. 換気モニター(センサー)本体の電源をONします。
2. 本体上部のスイッチを3秒以上長押しします。(細い棒上のもので押ししてください)
3. iPhoneアプリ (ワイヤレスCO2モニター)を起動します。
4. 「センサー検索」を行ない、該当する換気モニター(センサー)を選択します。
5. 「設定」モードを選択し、「ログ設定」に入ります
6. 「ログ開始」で記録周期を選びます(推奨は1分間隔です)。このとき測定周期は記録周期に書き換えられます。
7. 「ログ開始」をOKすると記録が開始されます
8. 「戻る」をタップして、「ビーコンモードに移行」を選択します
9. 換気モニターアプリに表示され、標準的な使用ができます。(バックグラウンドで記録されています)
10. メモリが満杯になると自動的に記録を停止します。ドライブレコーダのように古いデータを上書きはしません。



※1分間隔で記録を行なうと、約11日でメモリが満杯になりますので、1週間に1度データを取り出してください。

### 記録の取り出し

1. 換気モニター上部のスイッチを3秒以上長押しします。
2. iPhoneアプリ(ワイヤレスCO2モニター)を起動し、該当する換気モニターを選択します。
3. 「設定」モードから「ログ設定」を選択し、「ログ停止」します。
4. 「ログダウンロード」を選択し、右上の「開始」をタップします。(iPhoneにデータを送信します)
5. 終了したら「戻る」をタップして「ログ一覧」を選択します。
6. 読み取ったデータが一番上に表示されますので、タップすると詳細が表示されます。
7. 「グラフ」をタップすると、CO2濃度変化と日時が表示されます。
8. 「CSV出力」をタップすると、データが添付されたメールが作成されますので、アドレスを入力し発信します。
9. 受信したメールをパソコンで開き、添付されたファイルをEXCELで開くとグラフなどの編集が行なえます。
10. 記録を取り出したら、再び「ログ開始」してから「ビーコンモードに移行」します。

換気モニターTKR04Aの詳細の設定方法や仕様などについては取扱説明書をご覧ください。

記録の途中で本体の電源を切って再度ONにしたり、電池の交換を行なうと自動的に記録は再開されますが、電源OFF時間の時刻がずれます。

連続使用するので、基本的には電池ではなく外部電源供給をしてください。